

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム（毎月分配型）

愛称：ユーロスター・プレミアム

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2018年10月16日～2019年4月15日

第 77 期 決算日：2018年11月13日 第 80 期 決算日：2019年2月13日

第 78 期 決算日：2018年12月13日 第 81 期 決算日：2019年3月13日

第 79 期 決算日：2019年1月15日 第 82 期 決算日：2019年4月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、円建て外国投資信託への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券等を高位に組み入れるとともに、円に対するユーロのコール・オプションを売却しオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用する運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第82期末（2019年4月15日）

基準価額 4,566円

純資産総額 15,394百万円

第77期～第82期

騰落率 + 1.0%

分配金合計(*) 420円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

【ファンド検索】に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

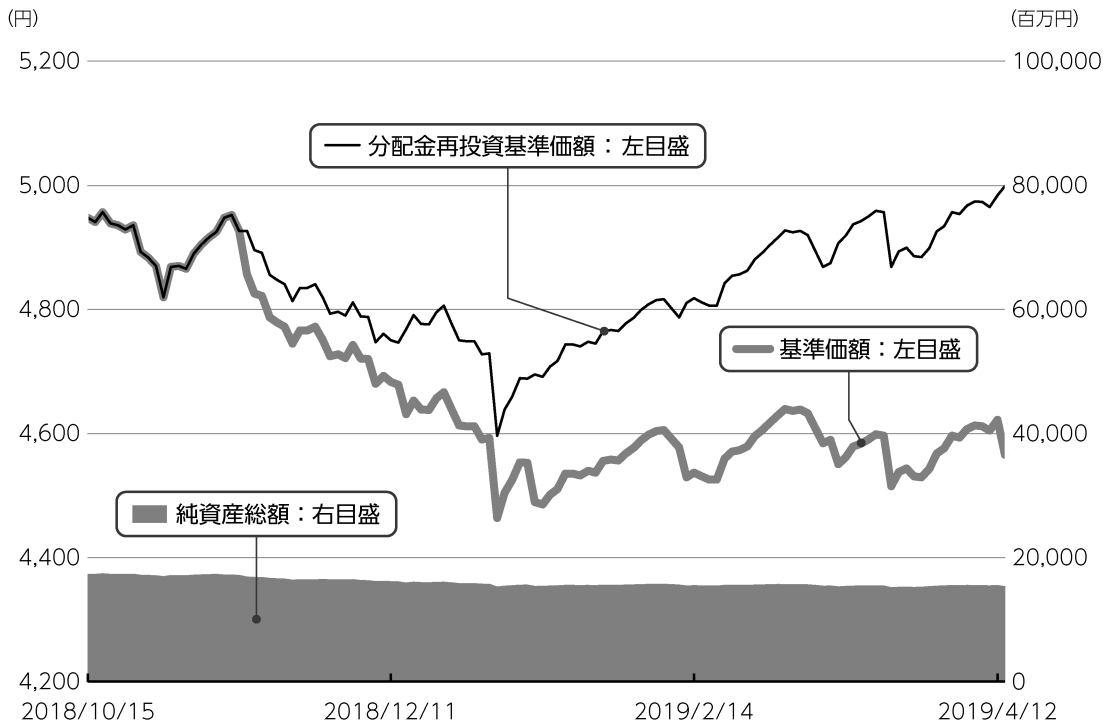
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第77期～第82期：2018年10月16日～2019年4月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第77期首	4,948円
第82期末	4,566円
既払分配金	420円
騰落率	1.0%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.0% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ オプション・プレミアムを享受したこと。
- ・ 欧州ハイイールド債券の利子収入を享受したこと。

下落要因

- ・ ユーロが対円で上昇した局面においてユーロのコール・オプションの権利行使に伴う損失が発生したこと。
- ・ ユーロが対円で下落したこと。
- ・ 信託報酬

2018年10月16日～2019年4月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第77期～第82期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	28	0.598	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(12)	(0.253)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.323)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	28	0.600	

作成期中の平均基準価額は、4,661円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

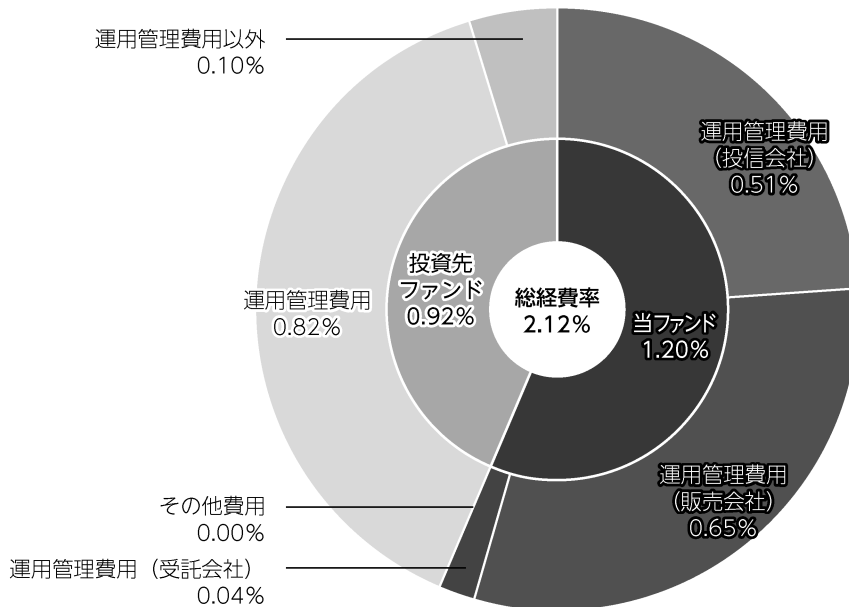
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.12%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.12
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.82
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.10

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

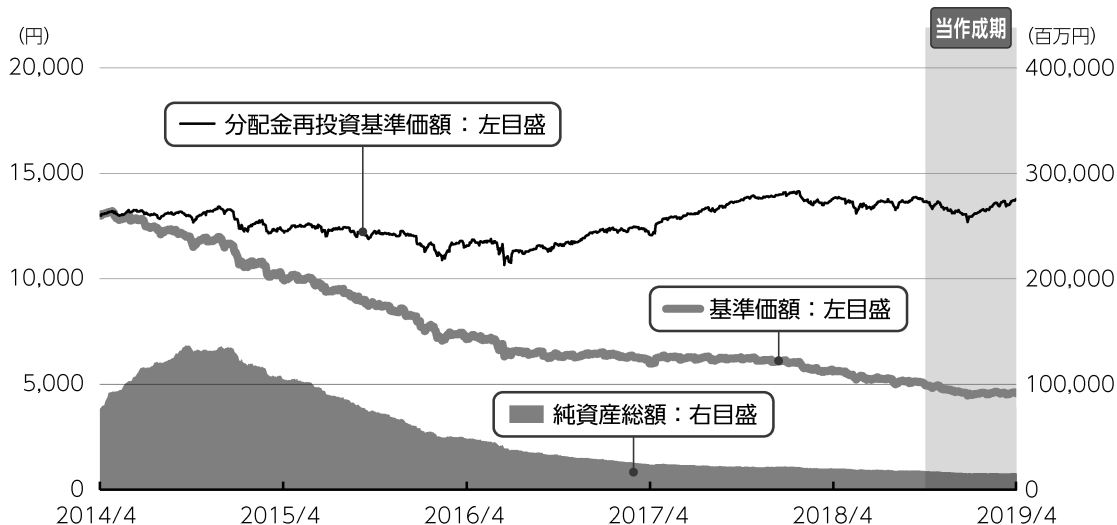
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年4月14日～2019年4月15日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2014年4月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/4/14 期初	2015/4/13 決算日	2016/4/13 決算日	2017/4/13 決算日	2018/4/13 決算日	2019/4/15 決算日
基準価額 (円)	13,031	10,002	7,147	5,990	5,602	4,566
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	2,400	2,350	1,450	1,200	1,020
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	-5.7	-6.0	4.7	14.0	0.1
純資産総額 (百万円)	76,632	104,578	47,914	23,550	19,900	15,394

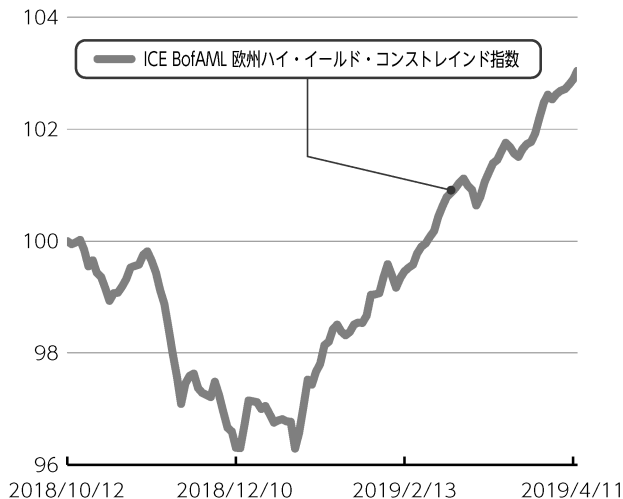
※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第77期～第82期：2018年10月16日～2019年4月15日

投資環境について

債券市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



▶ 債券市況

当作成期首から2019年1月上旬にかけては、世界経済が減速するとの懸念が高まったことや、原油相場や主要国の株式市況が軟調に推移したこと等を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州ハイイールド債券市況は下落しました。

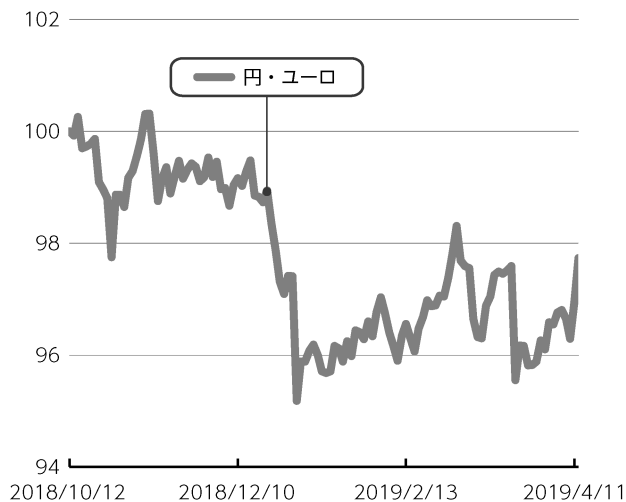
1月上旬から当作成期末にかけては、主要な中央銀行が利上げに対する慎重な姿勢を示したことや、原油相場や主要国の株式市況が堅調に推移したこと等を背景に、投資家心理が改善したこと等を受けて、欧州ハイイールド債券市況は上昇しました。

当作成期を通じて見ると、欧州ハイイールド債券市況は上昇しました。

(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) ICE BofAML 欧州ハイ・イールド・コンストレインド指数とは、ICE Data Indices, LLCが算出する、ユーロボンド市場もしくはユーロ圏の国内で発行されたユーロ建てのハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化、対円)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ 為替市況

当作成期首から2018年12月下旬にかけては、原油相場や主要国の株式市況が軟調に推移したこと等を背景に、ユーロは対円で下落しました。

12月下旬から当作成期末にかけては、欧州経済の成長が減速する懸念が高まった一方、株式市況が堅調に推移したこと等強弱材料が交錯し、ユーロは対円で概ね横ばいとなりました。

当作成期を通じて見ると、ユーロは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年4月15日のコール・レートは-0.061%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)

円建てで外国投資信託への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券等を高位に組み入れるとともに、円に対するユーロのコール・オプションを売却しオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用する運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

当作成期は、ユーロが対円で上昇した局面においてユーロのコール・オプションの権利行使に伴う損失が発生したことやユーロが対円で下落したこと等がマイナスとなったものの、オプション・プレミアムや債券の利子収入を享受したこと等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

▶ ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラス

基準価額は当作成期首に比べ1.7%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

円に対するユーロのコール・オプションを売却しオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用する運用を行いました。

為替

ユーロが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

通貨カバード・コール戦略

当作成期を通じてみると、円に対するユーロのコール・オプション売却によるオプション・プレミアム収入を享受しました。一方、ユーロが対円で上昇した局面ではユーロのコール・オプションの権利行使に伴う損失が発生しました。

(ご参考)

■ポートフォリオ特性

2019年3月末 (現地月末前営業日基準)

オプション・プレミアム	7.9%
カバー率	96.1%
平均権利行使価格 (月末ベース)	100.8%
平均権利行使価格 (約定ベース)	100.1%
平均権利行使期間	21日

- ・データはUBS社の資料に基づき作成したものです。
- ・オプション・プレミアムは月末の円建外国投資信託の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です (約定ベース)。
- ・カバー率は、組入外貨建資産に対するオプションのポジションです (月末ベース)。
- ・平均権利行使価格のうち、「月末ベース」は原資産価格 (通貨) に対する当月末時点の為替水準に対する権利行使価格の水準、「約定ベース」は原資産価格 (通貨) に対するオプション取引時点の為替水準に対する権利行使価格の水準です。
なお、「月末ベース」と「約定ベース」は主に為替変動の影響により異なる値となります。
- ・平均権利行使期間は、当月末からオプション権利行使日までの平均日数です。

種別配分戦略

セクター配分においては、当作成期を通じてメディア、金融サービス、銀行セクター等の組入比率をファンダメンタルズ対比で割安であるとの判断から市場対比で概ね高めとしました。一方で、景気変動の影響の受けやすさやバリュエーション等の観点から、素材、資本財セクター等の組入比率を市場対比で概ね低めとしました。格付別では、当作成期を通じてBB格相当の組入比率が低めとなる一方、B格相当の組入比率が高めとなりました。

セクター配分において、市場対比で銀行セクターを高めとしていたこと等がプラスとなりました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第77期 2018年10月16日~ 2018年11月13日	第78期 2018年11月14日~ 2018年12月13日	第79期 2018年12月14日~ 2019年1月15日	第80期 2019年1月16日~ 2019年2月13日	第81期 2019年2月14日~ 2019年3月13日	第82期 2019年3月14日~ 2019年4月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	70 (1.421%)	70 (1.489%)	70 (1.535%)	70 (1.522%)	70 (1.515%)	70 (1.510%)
当期の収益	47	46	46	50	48	47
当期の収益以外	23	23	24	20	21	23
翌期繰越分配対象額	689	665	641	621	600	577

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム（毎月分配型） 今後の運用方針

円建て外国投資信託への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券等を高位に組み入れるとともに、円に対するユーロのコール・オプションを売却しオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用する運用を行います。また、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の分配をめざしていく方針です。

▶ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラス 運用環境の見通し

欧州ハイイールド債券市場では、世界の貿易摩擦のリスク等を背景に、今後短期的に市場の変動性が高まる状況が予想されます。一方、概ね堅調な経済指標や企業業績が市場の下支えとなると考えます。また、主要な中央銀行が経済指標を重視し、利上げに対し慎重な姿勢を示していること等も、欧州ハイイールド債券市場にとってプラスになると見ています。

今後の運用方針

こうした環境下、引き続き、専任クレジットアナリストによるボトムアップ分析を最大限に活用し、業種・個別銘柄選択を慎重に行う方針です。

業種別配分においては、景気変動の影響を受けやすいと考える通信、自動車、素材セクター等の保有比率を市場対比で概ね低めとし、ファンダメンタルズ対比割安な個別銘柄が多く含まれると考える金融サービス、銀行、保険セクター等の保有比率を市場対比で概ね高めとします。

なお、円に対するユーロのコール・オプションを売却しオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用する運用を行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2019年1月12日）

▶ その他

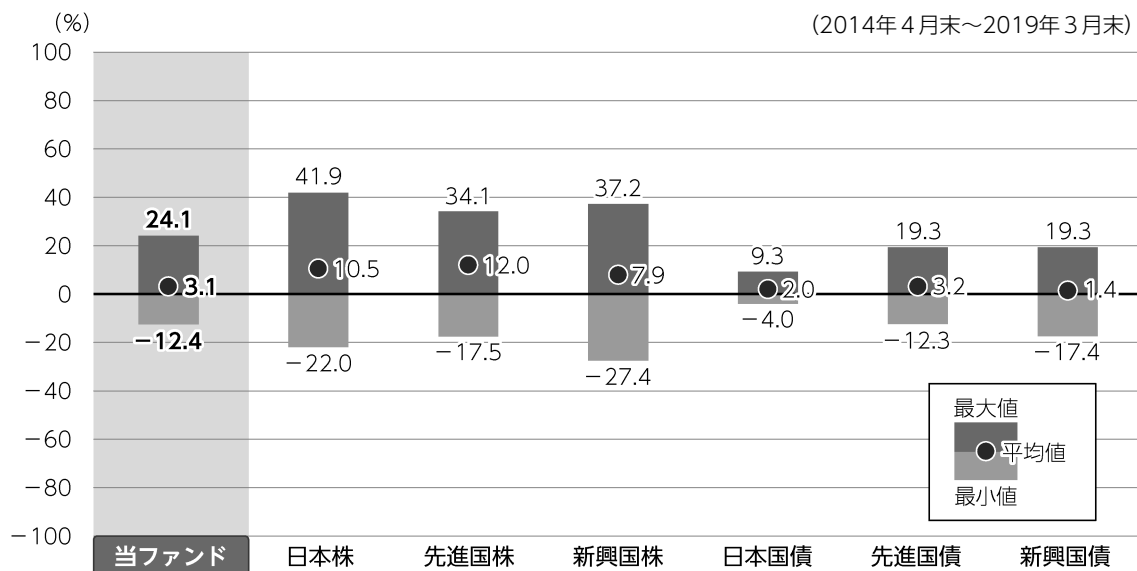
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2021年7月13日まで (2012年6月15日設定)
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスの投資信託証券への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、UBSアセット・マネジメント株式会社に委託します。
主要投資対象	<p>■当ファンド ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラス ユーロ建てのハイイールド債券およびその派生商品等、ならびに円に対するユーロのコール・オプション取引を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年4月から2019年3月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年4月15日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第82期末 2019年4月15日
ユーロ・ハイイールド・債券・ファンド カバードコールシェアクラス	99.0%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

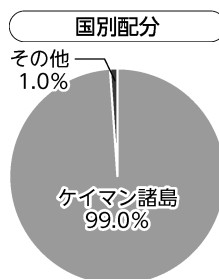
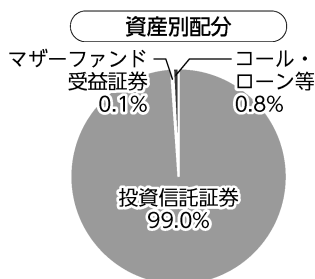
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目		第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
		2018年11月13日	2018年12月13日	2019年1月15日	2019年2月13日	2019年3月13日	2019年4月15日
純資産総額	(円)	16,954,643,916	15,999,056,797	15,439,793,384	15,508,586,196	15,369,925,525	15,394,889,201
受益権口数	(口)	34,905,884,258	34,550,216,285	34,389,198,451	34,236,560,099	33,776,263,629	33,718,936,056
1万口当たり基準価額	(円)	4,857	4,631	4,490	4,530	4,551	4,566

※当作成期間中（第77期～第82期）において追加設定元本は2,182,471,226円
同解約元本は 3,556,286,611円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

2018年5月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラス

基準価額の推移

2017年5月31日～2018年5月31日



1万口当たりの費用明細

2017年6月1日～2018年5月31日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

【参考情報】

費用項目	比率
運用管理費用 (信託報酬)	0.83%
その他	0.10%
費用合計	0.94%

※左記は、UBS社から提供された費用明細を三菱UFJ国際投信が「運用管理費用 (信託報酬)」と「その他」に分類して表示したものです。

※比率は、左記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

基準価額の推移・1万口当たりの費用明細以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド」ベースで表示しています。

ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド

組入上位10銘柄

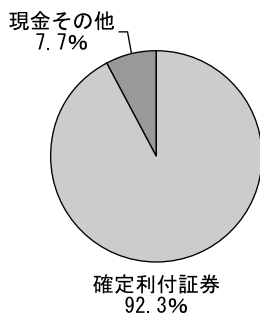
(組入銘柄数：333銘柄)

	銘柄	国	比率
1	ALTICE LUX 7.25% 05/15/22/EUR/	ルクセンブルグ	2.3%
2	ROYAL BK SCOT 5.5% /PERP//EUR/	イギリス	1.5%
3	INFOR US I 5.75% 05/15/22/EUR/	アメリカ	1.2%
4	ALTICE FR 5.375% 05/15/22/EUR/	フランス	1.1%
5	ARD FINAN 6.625% 09/15/23/EUR/	ルクセンブルグ	1.1%
6	SYNLAB UNS 8.25% 07/01/23/EUR/	イギリス	1.0%
7	ORANO SA 4.875% 09/23/24/EUR/	フランス	1.0%
8	VALEANT PHA 4.5% 05/15/23/EUR/	カナダ	1.0%
9	INTRUM AB 2.75% 07/15/22/EUR/	スウェーデン	0.9%
10	HORIZON PA 8.25% 02/15/22/EUR/	ルクセンブルグ	0.9%

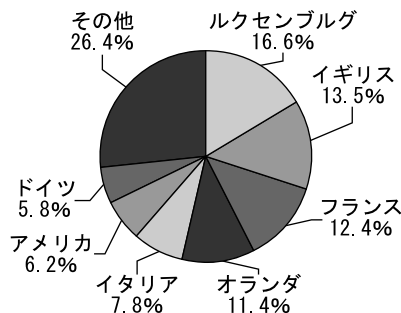
- ・比率はファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

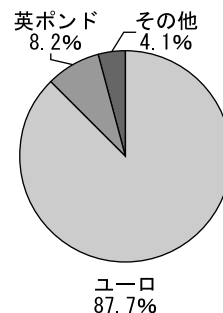
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

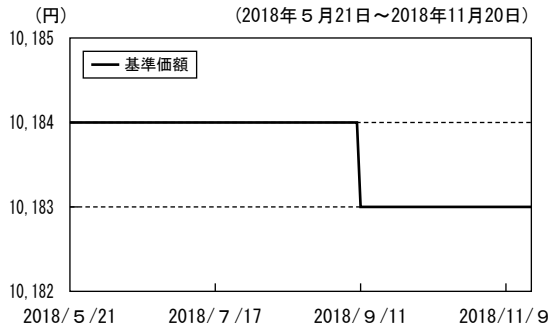


- ・比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移



(2018年11月20日現在)

組入上位10銘柄

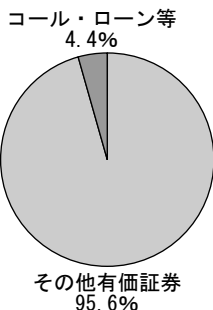
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	アプラスフィナンシャル 181121	其他有価証券	日本	コマース・ペーパー	53.1%
2	T & D リース 181121	其他有価証券	日本	コマース・ペーパー	42.5%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

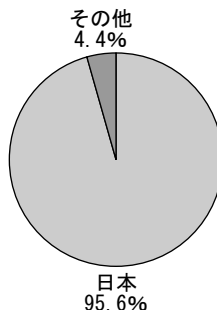
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、其他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

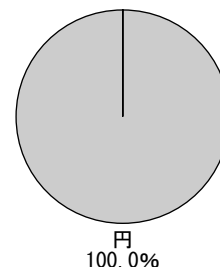
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「其他」に分類しています。
- ・国別配分の「其他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	0円	0.000%
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

(2018年5月22日～2018年11月20日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968469

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●TOPIX (配当込み)

TOPIX (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (TOPIX) に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX (配当込み) に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の停止またはTOPIX (配当込み) の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信